

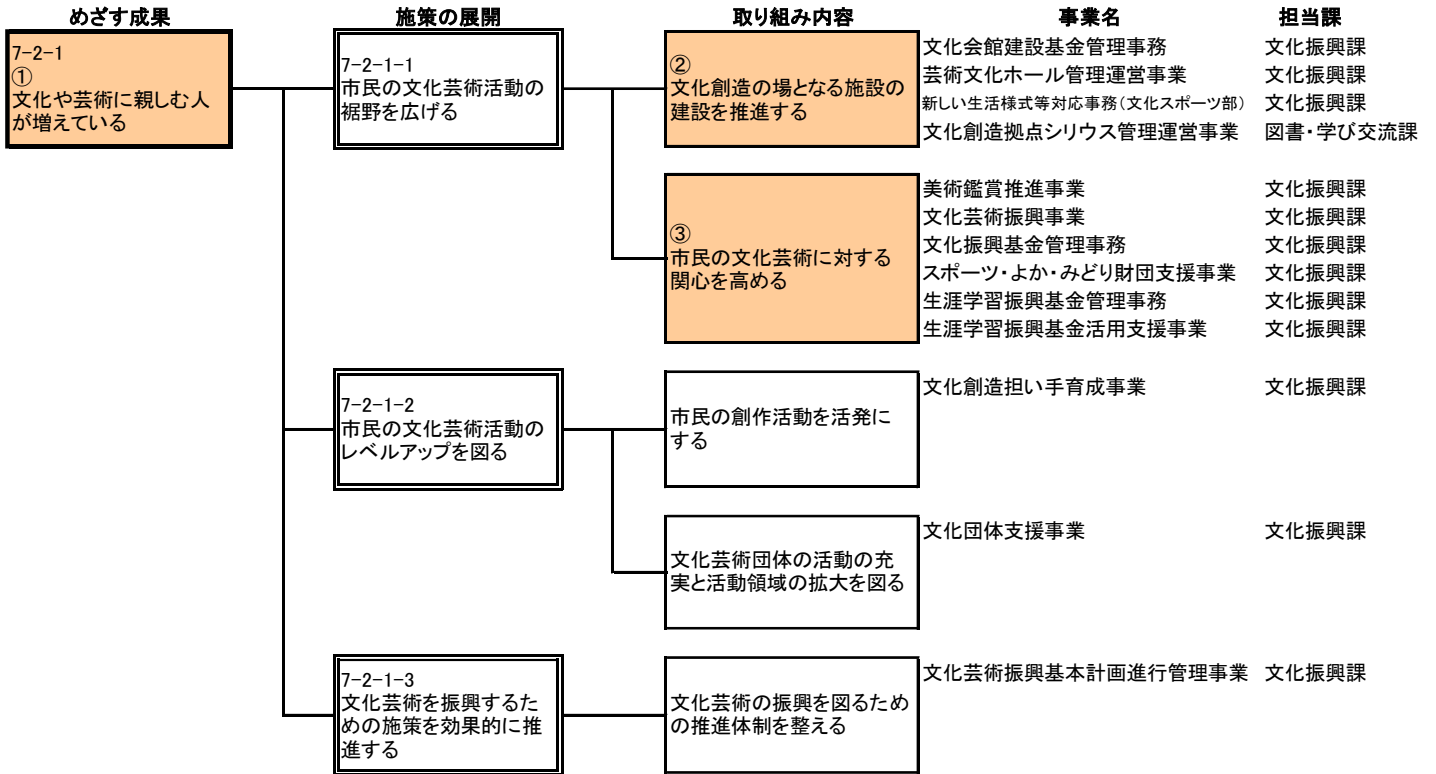
施策評価（一次評価）

個別目標 7 - 2

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7-2	薫り高い文化芸術を創造・継承する
めざす成果	7-2-1	文化や芸術に親しむ人が増えている
	7-2-2	郷土の文化がしっかりと引き継がれている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

総事業費 (予算)	H31(R1) 589,796	R2 588,291	R3 596,049	R4 574,279
--------------	--------------------	---------------	---------------	---------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	45.7%			48.2%	55.5%	59.5%
② 芸術文化ホール年間利用者数	306,018人	225,063人	43,931人	104,520人	318,000人	324,000人
③ YAMATO ART100参加イベント数	103イベント	107イベント	49イベント	54イベント	100イベント以上	100イベント以上

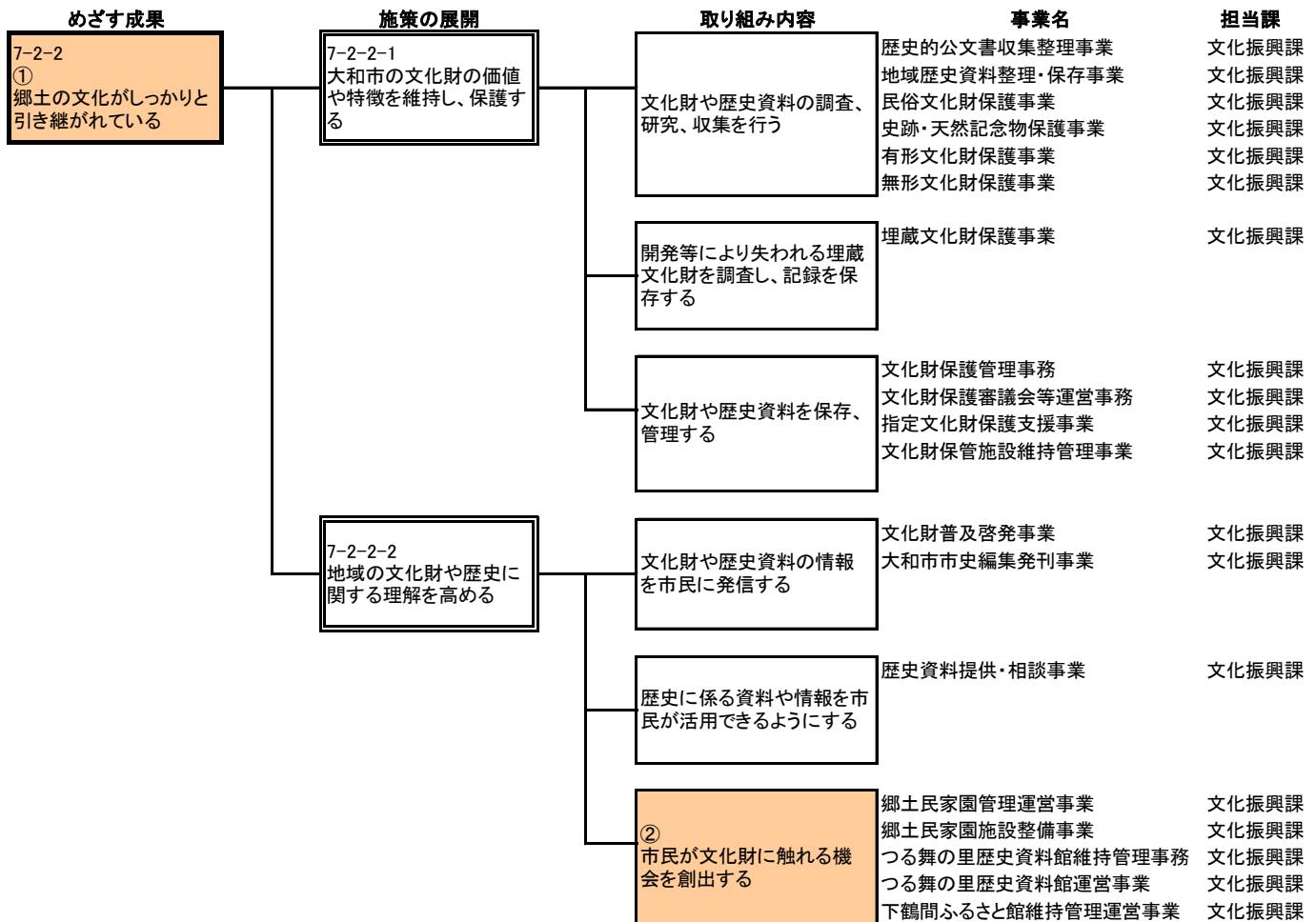
これまでの成果	<p>【市民の文化芸術活動の裾野を広げる・市民の文化芸術のレベルアップを図る・文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する】</p> <p>■大和市文化芸術振興条例に掲げる基本理念「すべての市民が文化芸術に親しむことのできる環境づくり」を進めるため、文化芸術振興基本計画（第3期）（計画期間：平成31年度～令和5年度）に基づき、文化芸術振興事業や美術鑑賞推進事業、文化創造担い手育成事業などを実施しました。</p> <p>■文化祭や文芸祭、イラストコンペ等の市民参加型の事業については、コロナ禍においても市民の創作意欲を低下させないため、毎年公募を行い、例年通りの応募数を確保することができました。</p> <p>■「対話による美術鑑賞事業」や「やまと子ども伝統文化塾」などの子どもたちの文化芸術への関心を高める事業については、感染防止策を徹底して実施し、子どもたちの文化芸術に触れる機会をできるだけ維持しました。</p> <p>■やまと芸術文化ホールの稼働率は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の利用時間や人数の制限等により減少はしましたが、感染拡大防止策を徹底し、安心・安全に利用できるよう努めるとともに、オンライン配信ができる環境を整備しました。</p> <p>■YAMATO ART100について、コロナ禍ではイベントの中止が相次ぎ、特に、大規模イベントが実施できなかったことにより、イベント数・来場者数が大きく減少しました。</p> <p>■令和元年に大和市文化芸術情報サイト「大和文化百花」を開設し、文化芸術団体紹介やイベント、施設など市内の魅力ある文化芸術情報の情報発信や、Instagram等を活用したSNSの取組みを進めました。</p>
---------	--

成果に対する評価と課題	<p>【市民の文化芸術活動の裾野を広げる・市民の文化芸術のレベルアップを図る・文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する】</p> <p>■「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、計画当初値「45.7%」から「48.2%」の微増に留まっています。しかし、平成30年度の調査では、「60.2%」まで向上していたことから、やまと芸術文化ホールの建設（平成28年11月）により、市民の文化に対する意識は変化しているものと考えられます。</p> <p>■新型コロナの影響により、SNSでの情報発信やオンライン鑑賞など、新たなツールが定着し、身近なものになりつつあることから、今後このようなツールを活用し、文化芸術を振興していくことが重要と考えます。しかし、SNS等の取り組みを引き続き進める一方で、パソコンやスマートフォンの操作が苦手な層が一定程度いることから、イベントの内容や対象等を勘案し、様々な方への情報提供ができる手法を選択していく必要があります。</p> <p>■YAMATO ART100の参加イベント数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少しましたが、コロナ収束後には、イベント数及び来場者数が以前に戻せるよう、応募団体の増加に努めていきます。</p>
-------------	--

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7-2	薫り高い文化芸術を創造・継承する
めざす成果	7-2-1	文化や芸術に親しむ人が増えている
	7-2-2	郷土の文化がしっかりと引き継がれている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

総事業費 (予算)	H31 (R1) 59,828	R2 54,930	R3 71,584	R4 44,619
--------------	--------------------	--------------	--------------	--------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	38.3%			38.4%	43.5%	45.5%
② 歴史文化施設の利用者数	54,443人	47,760人	37,516人	50,280人	61,200人	61,200人

これまでの成果	<p>【大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護する】</p> <p>■大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護するために、地域に所在する文化財や歴史資料に対する調査、研究、収集および保存を実施しました。また、埋蔵文化財保護事業では開発事業等に伴い失われる可能性のある遺跡を対象に試掘調査を実施し、発見された遺跡については出土品や記録を保存する本発掘調査の処置をとりました。これらの取り組みにより、文化財の価値が明らかになり、未来の市民へ継承する準備を整えることができました。</p> <p>【地域の文化財や歴史に関する理解を高める】</p> <p>■地域の文化財や歴史に関する理解を高めるために、全市民を対象として、『大和史』関連書籍の刊行、各種文化財の展示・公開、歴史や文化財に関連した講座の開催、歴史資料や情報の提供等の事業を実施しました。特に、令和2年3月には地域の歴史の中でも特徴的な事柄や市制施行以降の年表をわかりやすくまとめた『大和市の歴史』を刊行し、また、令和4年9月の刊行を目指して市域で過去に起こった災害の概要とその対策をまとめた『大和市の災害史』の編集作業を行いました。展示や講座事業の成果を計る歴史文化施設の利用者数は新型コロナウイルスの影響により計画当初より落ち込んでいますが、令和3年度は感染症対策に配慮した事業を実施したことにより数値に回復傾向が見られます。これらの施策により、市民の郷土への理解・関心を高め、地域の歴史や文化を継承する準備を整えることができました。</p> <p>■郷土民家園の市指定重要有形文化財・旧小川家住宅で令和2年度から実施されていた茅葺き屋根の全面葺き替え工事においては、昔ながらの手法を目の当たりにできる二十数年に一度の貴重な機会を活用した見学会・屋根職人による講座・写真展等を開催するとともに、工事の様子を映像で記録しました。郷土の文化財の修繕を、生きた伝統と昔ながらの技法に触れる機会と捉えたことにより、参加者は郷土の昔の暮らしを体感することができました。</p>
---------	--

成果に対する評価と課題	<p>【大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護する】</p> <p>■地域に所在する文化財や歴史資料に対する調査、研究、収集および保存を実施したことにより、文化財の価値が明らかになり、失われた、あるいは失われつつある「郷土の文化」を未来の市民へ「しっかりと引き継ぐ」目標の実現に近づけたものと考えています。継承すべきは郷土の「文化」とその所産である「文化財」であるため、対象が幅広く業務量も多くなりますが、関連する事務事業の見直しを常に行い、効率的・効果的な業務の進捗に努める必要があります。</p> <p>【地域の文化財や歴史に関する理解を高める】</p> <p>■歴史・文化財関連書籍の刊行、各種展示・講座等の開催、歴史資料・情報の提供等を実施したことにより、市民の郷土への理解・関心を高めることができ、「郷土の文化」を「しっかりと引き継ぐ」社会意識を醸成することができたと考えています。新型コロナウイルスの影響下でも効果をあげることができるよう事業展開を工夫した結果、落ち込んでいた指標を回復傾向に持ち込むことはできましたが、引き続き郷土の文化を活きた姿で市民に向けて発信する工夫を重ね、歴史文化施設の利用者数を獲得することで、めざす成果の実現を図っていきます。</p>
-------------	---

めざす成果		7-2-1 文化や芸術に親しむ人が増えている			
主要な 事務事業の 内容	事務事業名	R1決算額 法令等の義務	R2決算額 実施手法	R3決算額 財源構成	R4予算額
	事務事業の目的				
	芸術文化ホール管理運営事業	285,242 一部有	284,774 直営・委託・指定管理	289,722 一財	290,343
	やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。				
	美術鑑賞推進事業	6,561 一部有	3,410 委託	6,018 一財	6,157
	美術鑑賞教育の推進を図ります。				
	文化芸術振興事業	14,361 一部有	8,234 直営・委託	4,613 他・一財	9,020
	市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。				
	文化創造担い手育成事業	1,883 一部有	1,587 直営	2,008 一財	2,130
	これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。				

めざす成果		7-2-2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている			
主要な 事務事業の 内容	事務事業名	R1決算額 法令等の義務	R2決算額 実施手法	R3決算額 財源構成	R4予算額
	事務事業の目的				
	地域歴史資料整理・保存事業	1,674 無	2,002 直営	1,224 一財	1,820
	地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。				
	文化財普及啓発事業	496 無	873 直営	564 一財	604
市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。					

【注釈】 <法令等の義務> 法律または政省令による事業実施根拠の有無
 <実施手法> 直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
 <財源構成> 一財：一般財源 国：国庫補助金等 県：県費補助金等 市：市債 他：その他特定財源

成果を計る主な指標の計算式等及び目標値の設定理由

めざす成果	成果を計る主な指標	計算式等	目標値の設定理由
7-2-1 文化や芸術に親しむ人が増えている	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	市民意識調査で測定	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年2ポイントずつ増加させることを目標とした。
	芸術文化ホール年間利用者数	芸術文化ホール（メインホール・サブホール・ギャラリー・練習室）利用者数	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1%ずつ増加させることを目標とした。
	YAMATO ART100参加イベント数	YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント数	文化芸術イベントの発信力強化のため、100日間に100のイベントを継続的に実施していくことを目標とした。
7-2-2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	市民意識調査で測定	文化財に対する関心を高める取り組みを進め、毎年1%の増を目標とした。
	歴史文化施設の利用者数	郷土民家園+つる舞の里歴史資料館+下鶴間ふるさと館利用者（入園・入館者）数	郷土民家園（カウンター数）、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館3館の入園・入館者数を過去5年の最高値（61,216人）を基準に固定値として採用した。